

令和6年度使用教科用図書 選定理由書

《小学校用教科用図書》

国語	…	P.1
書写	…	P.2
社会	…	P.3
算数	…	P.5
理科	…	P.6
生活	…	P.7
音楽	…	P.8
図画工作	…	P.9
家庭	…	P.10
保健	…	P.11
外国語 〈英語〉	…	P.12
道徳	…	P.13

教科名（ 国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ QRコード「思い出そう」が添付されており、6年間の学びを意識した縦の系統性、他教科・領域等で生きて働く「言葉の力」の育成を図るように工夫されている。 ・ 対話の基礎的な内容(わけを話す、詳しく聞く)について、具体的な語例を示して学年に応じて段階的に身につけることができるように教材化している。 ・ 見開きで作成された単元の扉のページに、大まかな計画が示されており、学習の見通しを持つことができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年をまたぐ縦の系統性も十分に考慮されており、螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるように考慮されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の様々な場面における言語活動の内容が設定されており、学びを日常生活で活用できるように工夫されてある。 ・ 学年最後には1年間の言葉の力をまとめる単元が設定されている。1年間の成長を振り返り、次年度へつなげる構成となっており、目的や意図に応じて資料(情報)を読み取ったり、活用したりする力をつけることができる。 ・ 手塚治虫、豊岡のかばん等、兵庫県に関する内容、防災に関する内容が、高学年を中心に多く取り上げられている。発展的に取り扱うことで兵庫県各地域の実情に合わせた取組が可能である。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5、6年生は合本であるため、中学校での学習を意識して1年間を見通した学習ができる。 ・ QRコードの大きさ・配置のわかりやすさ、各単元扉と手引の目標が正対していること、1年生教科書の文字が大きいことなど、学習のユニバーサルデザイン化への配慮がされている。 ・ 3者とも多様性に配慮しているが、例えば1学年の教科書では、男女で遊びの違いがないことにまで挿絵で示している点など、細部にわたっての配慮がある。 ・ 指導の手引が極めて充実している。「取組」部分で学び方を具体的に示し、言葉の力の活用にもまで図っている。「見通す」で読む観点のみを示し児童の考える力の育成に配慮し、「ふりかえり」で焦点化した観点を示している。言葉の学習を手引の中で教科書と関連させて扱っており、国語科で重要な「言葉の力」を系統的・網羅的に育成できるように仕組みられている。 ・ 学力学習状況調査の分析から、丹波篠山市では目的や意図に応じて書く力に、丹波市では意図を明確にして考えをまとめ表現する力の育成に取り組んでいる。本教科書は具体的なノート例が示され、主体的に見通しを持って書く力を育成できる仕組みができています。また、相手意識を重視した単元設定を行い、目的や意図に応じて書く力を育成できるように工夫されている。総合的に児童が主体的に国語科で培うべき「言葉の力」育成が期待される配列、分量、内容となっている。 			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンプルに、明快に、気づきを大切にしながら書くことを学ぶことができる。日常の課題や生活、他教科とつながることを大切にしている。 ・左利き、色覚特性等児童の多様性や特別支援に配慮した、紙面構成やフォントが工夫されている。 ・低学年の学習では、書くことの基礎をつくるための水書用紙、クイズ、イラスト等の工夫がある。また、小学1年生は、年度当初と末に記名欄があり、一年間の学習の成果が実感できる。 ・豊富な151のQRコードを利用して、さまざまなコンテンツを見ることができる。3者の中では、映像内での筆使いの音声説明が一番詳しい。このように、毛筆を使った学習が丁寧に指導できるよう配慮されている。家庭での自学自習にも役立つ。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆は、どのお手本にも、指でなぞる指示文に本時のめあてが焦点化された記述がある。また、学習の要点を「書写のかぎ」とし、6年生まで同じ表現を用い、系統的に整理している。 ・どの単元も、①見つけよう、②確かめよう、③生かそう、④ふり返ろう、と同じ手順で示されており、学習者が学び方を身に付けやすい工夫がされている。 ・中・高学年で掲載される毛筆の手本の数が3者で2番目に少ない。 (3年10字、4年9字、5年8字、6年8字、合計35字) ・分量は3者とも同程度。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、書くことの基礎をつくるために、書くための姿勢を「あし ぺた ぴん とん」とリズムカルな標語で分かりやすく示されている。また、水書用紙を利用して何度も筆で書いてみることで硬筆への書写動作に役立つ配慮がされている。 ・中・高学年では、硬筆や毛筆の書写の学びが生活に生かせるよう、他教科で扱う題材や言語活動が充実した内容になっている。 ・書写学習を通して、学習者が、幅広い知識と教養を身に付けられると共に、自分の文字を整った文字にしていこうとする課題解決の過程で主体的な学びが期待できる内容である。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した字を練習するために、なぞった後にワークシートのように書き込むことができるようになっている。このため、ワークシートがなくても教科書だけで指導ができる。 ・1年生「まがり」の単元では、他者では「の」しか示されていないが、東京書籍は「の」「と」の2文字を示し、更に練習で「め」「も」「を」「ら」まで書くようになっている。このように、扱う文字の種類が多く、練習量は3者の中で一番多い。 ・3年生以上の毛筆の「手本の字の大きさ」が3者の中で一番大きい。児童は教科書の手本を使って字を書くので大きい方がよい。また、筆使いについても丁寧に説明されている。 ・豊富な151のQRコードを利用して、さまざまなコンテンツを見ることができる。3者の中では、映像内での筆使いの音声説明が一番詳しい。 ・学習者、指導者にとって見やすさや使いやすさ等、全体的にバランスの取れた教科書である。 			

教科名（ 社会 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間ごとに問題解決的な学習ができるように、見開き2頁に問題を発見、追究し、解決へ向かう構成となっている。問題解決的な社会科の学習を展開できる工夫がある。 ・ 「社会的な見方・考え方コーナー」や「学び方・調べ方コーナー」によって、事象の特色や意味などを深く調べることができるようになっている。 ・ 社会に生きる多様な人への取材を掲載している。 ・ SDGsで社会の諸課題を多角的に捉える学びのコーナーや特設頁が設けてある。また、目標シートで確認できるように工夫している。 ・ 教科書QRコンテンツによって、ICTを利用した個別最適な学びを支援する工夫がなされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の主体的・対話的な学習活動が展開できるように内容の重点化が図られ、適切な時数が配当されている。児童の思考の流れを重視した配列になっている。 ・ 全学年にわたって、児童一人ひとりが主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、学習問題を追究・解決する活動の充実が図られている。 ・ カラーユニバーサルデザインへの配慮や読み取りやすさに配慮されている。 ・ インパクトのある写真やイラストがページの上段にレイアウトされ、効果的で見やすい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的な見方・考え方を生かした問題解決的な学習の進め方ができるよう構成されている。 ・ 兵庫県に関して取り上げられた地域事例は、地震による災害（神戸市）、水害への備え（佐用町）、村を育てる教育（但馬）、市の様子（姫路市）、まちではたらく人びと（姫路市）などがある。 ・ 全学年に防災教育に関する内容が取り上げられている。特に4年生では「自助・共助・公助」について、5年生では「減災」について、6年では「災害復旧」について取り上げられている。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や図、イラストなどの明度が高く、やわらかい色調で見やすい紙面構成となっている。 ・ 写真や図表を主に上段にレイアウトし、本文の背景にも色付けをするなどの工夫があり、読み取りやすさに配慮されている。 ・ 登場するキャラクターの名前がどのページにも記載されており、授業でも名前を使って注目させることができる。 ・ 太めのユニバーサルデザインフォントの文字がはっきりとしてクリアである。 ・ 素朴な疑問から学習課題を設定するような単元構成となっており、子どもにとって無理なく問題解決的な学習に取り組みやすい。 ・ 個別最適な学びを支える教科書QRコンテンツが豊富で、一人一台端末を活用しながら、主体的に学習に取り組むことができる。 			

教科名（ 社会 地図 ）

発行者番号	4 6	発行者名	帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生からの使用をふまえ、地図の仕組み、約束事、地図帳の使い方をわかりやすく解説し、3年生向けに広く見渡す地図を掲載（30頁まで）している。初めて地図帳を手にする3年生の発達段階を意識したより見やすい構成となっている。 ・ 歴史学習や他教科での活用のために、歴史のテーマ地図や世界遺産の頁を設けている。 ・ SDGsの視点を養える資料、防災・減災への理解を深める資料の掲載がある。 ・ 日本の領土についての認識を教える構成となっている。 ・ 主体的な学びから深い学びへの「地図マスターへの道」において、全体で100問を設定している。 ・ 軽くて丈夫な糸かがり製本 表紙にはポリプロピレンシートを使用している。 ・ 美しく鮮明な印刷で見やすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべての都道府県の拡大図を途切れることなく掲載している。 ・ 各見開きの右頁端に地図帳のテーマごとに色分けしたインデックスを設けている。 ・ 発達段階に応じた学習しやすい配列となっている。 ・ 地域同士を比較しやすい縮尺にしている。 ・ 全体の分量134頁、地図の使い方4頁、地図の約束6頁、日本の各地の地図58頁、世界の各地の地図12頁、持続可能な開発目標2頁。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育に関する内容として、「日本の自然災害と防災」について4頁掲載されている。 ・ 現代的な諸課題として「SDGs」に関する内容が設定されている。 ・ 地図や地球儀を効果的に活用し、国土に対する地理的理解や社会生活への理解を深める学習を進められるよう配慮してある。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図が全体的に明るく視認性がよい。美しく鮮明な印刷であり、土地の高低差や都市部の多い地名もわかりやすい。 ・ 日本の自然や産業の内容が小学生にもわかる範囲で掲載されており、わかりやすい。 ・ 初めて地図帳を手にする3年生の発達段階を意識した紙面構成であり、地図に親しみやすい配慮がある。 ・ 自然災害や防災についての頁があり、防災意識を高められるような工夫がある。 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の問いや気づきを「めばえ」として示し、児童からめあてを引き出す授業展開ができるように構成されている。毎時間に、めあて、まとめがある。 ・ 問題把握から解決までのプロセスで、児童に価値づけたい数学的な見方・考え方をマーカーで強調し、統合的・発展的に考え、対話的な学びが深まるよう工夫している。 ・ デジタルコンテンツは1614か所用意されている。他学年のものも見られる。 ・ 1年すたあとぶっく(A4)、2年から4年2冊、1年5年6年1冊(B5)。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 127(1年)～161(5年)時間で計画され、予備時間を9(1年)～38(6年)時間としている。 ・ 補充的な問題は、最も多い。 ・ 3年生では分数、小数で配列されている。 ・ 5年生の面積は、三角形から導入されている。 ・ 単位量当たりの大きさや割合などでは、文脈を読み取り関係図に表して、線分図、直線図で立式している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活や実社会の中から教材を取り上げ、それらについて意欲的に探究できるように学習活動を設定している。自ら課題を見つけ、その課題について協働的に解決する学習が進めやすく工夫されている。 ・ 兵庫県に関する内容は4年、5年で各1か所。6年で2か所。 ・ 防災に関する内容は5年、6年で各1か所。 ・ プログラミング的思考に関する内容は、6年は2か所。他学年は1か所。 ・ SDGsに関する内容は、3年から6年で各4ページ。 			
<p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補充的な問題が充実しており、個に応じた指導が行いやすい。 ・ 解説動画がすべての主問題についていたり、他学年のコンテンツも見ることができる。 ・ 二次元コードに見出しがついていてわかりやすい。 ・ 面積を三角形から導入し、底辺と高さの関係をしっかり理解しやすい。 ・ 直線図やテープ図に加え、関係図があり問題が把握しやすい。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見つける、調べる、まとめる、の3段階が明示されていて、学びのサイクルがわかりやすい。 ・ 手書き風のまとめノートが用意されていて、ノートづくりがしやすい。 ・ 1枚の写真で、課題等がわかりやすい。」 ・ 教科書の流れにガイドがつけてあり、学びの流れがつかみやすい。 ・ 理科の広場が用意されている。他教科マークで内容の関連が図られている。 ・ 実社会との関連が図られている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生の教科書は430g ・ ページ数が学習の時間数にあわせてあり、適切な分量である。 ・ 単元末のQRコードで、補充の問題が用意されている。 ・ 発展学習を主体的に学べるようになっている。 ・ もっと知りたいという思いに対応できるページが用意されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県を題材にした写真やコラムが多い。 ・ 題材が身近なものが多く紹介されている。 ・ 郷土愛が感じられる工夫が見える。 ・ 防災や減災についてすべての学年で取り上げられている。 ・ SDGsのマークを配置して関連付けを明確にしている。 ・ 実生活や実社会とのつながりを大切にし、「活用しよう」「学びとリンク」「理科の広場」など日常生活との関連を図る内容を多く取り上げ、学びを再確認する工夫がされている。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの内容がわかりやすくまとめられ、基礎学力から発展的な学習まで幅広く取り扱っている。 ・ 各ページに学習ガイドによる学習の流れが視覚的に明示している。 ・ QRコードによるコンテンツが大変充実している。 ・ 身近なものを使っていて、理科と生活につなげる記述が多く、わかりやすい。 ・ 理科の授業の経験の浅い教員にとって、指導法や実験準備もわかりやすく記述してある。 ・ 兵庫県の題材が多く取り扱っており、防災・減災にも多く触れている。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	1 7	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動がイメージしやすい写真例が多く掲載されており、視覚的に理解しやすい。 ・生活科で培いたい「きづく」「自分でできる」「考える」「伝える」「挑戦する」「自信をもつ」の「六つの力」の観点が見開きページ左上にサイコロの面に書かれており、児童も指導者もつきたい力を端的に捉えやすい。 ・「はじめのいっぽ」で「スタートカリキュラム」の姿を表現、「わくわくスイッチ」「わくわくクイズ」で意欲を喚起、「はっけんろうど」で気づきを促し、「ぐんぐんはしご」で見通しをもって学び、達成度（自己評価）を知る。 ・「学びのポケット」で、生活科と各教科の学習内容や方法との関連付けが図られている。（カリキュラムマネジメントが見える構成） ・見開きページ右上に二次元コードが定置され、動画や図鑑、ドリル、ワークシートも決まった記号で載っていたり、見出しが揃っていたりするので児童が活用しやすい。 ・「学びリンク」や「学びのポケット」にコンテンツを豊富に掲載しており、ICT活用で協働的に学べる。 ・共生、SDGsマークの配置と表示ページがあり、児童の意識付けになる。 ・A4版、厚さが扱いやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容が、他者より随分多く、充実している。 ・学習指導要領「生活や出来事の伝え合い」の内容は上下巻とも充実しているが、「学校と生活」「家庭と生活」「地域と生活」の内容は少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通したり振り返りしたりして、学びや変容を自覚できる学習活動になっている。 ・対話により考えを広げられる学習活動になっている。 ・自分で考える場面と教師の価値づける場面の例示がある。 ・学習対象と自分自身や自分の生活との関わりを考えることやそのための方法を生かした学習活動がある。 ・四季を通した自然に関わる校外活動、地域探検を中心とした校外活動が充実している。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動がイメージしやすい写真例が多く掲載されており、視覚的に理解しやすい。写真とイラストのバランスも見やすく、分かりやすくよい。 ・「きづく」「自分でできる」「考える」「伝える」「挑戦する」「自信をもつ」の「六つの力」の観点が示されていて、自分がすべきことが明確で分かりやすい。 ・「ぐんぐんはしご」等で、見通したり振り返りしたりして、学びや変容を自覚できる学習活動になっている。また、ゲーム感覚で進められて楽しい。 ・児童の興味・関心をひく身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容が、丹波地域の実態に合っている。 ・四季を通した自然に関わる校外活動、地域探検を中心とした校外活動が丹波地域の実態に合っており充実している。 ・もっと知りたいに答える動画やコンテンツ、デジタル図鑑、ワークシート、ドリル等の二次元コードが随所に配置され、また何の二次元コードか明記され、活用しやすい。中身も充実している。 			

教科名（ 音楽 ）

発行者番号	27	発行者名	教育芸術社
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの見開きに各学年の「学習マップ」があり、学習内容や活動を4つの領域（歌う、演奏する、聴く、作る）に色分けして分かりやすく示してある。 ・3年生以上は、各学年の学習内容に関連した音楽家等のメッセージが「学習マップ」の前にあり、音楽に対する児童の興味関心をひく工夫がしてある。 ・デジタルコンテンツが大変充実しており、各ページのQRコードを読み取ることで、紙面上だけではわかりにくい内容も小学生がおさえておくべきポイントを絞って学ぶことができる。特に、歌唱や楽器などで旋律を確認する際に短音で音取りがしてあり、鑑賞曲については節の特徴や動きを動画で見ることで音と同時に音の感じや旋律の動きを視覚的にも分かりやすくしてある。 ・各ページのQRコードだけでなく、さらにまなびを深めたい場合には、表表紙や裏表紙にあるQRコードから「ムーブの部屋」に入り、様々な音や動画で、楽器の使い方を確認することができる。「ムーブの部屋」をタブレット端末のお気に入りに入れておけば、児童が知りたいと思ったときや音楽に触れたいなどと思ったときにいつでも聴くことや見るできるようになっている。 ・一つ一つの題材について丁寧に示してあり、万が一新型コロナウイルス感染症等で家庭学習となった場合でも児童が主体的に自ら学ぶことができるようになっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多めに入れてあるが、年間計画表等をもとに学習活動の分量を弾力的に増減できるように配慮されている。 ・はじめに友だちに関連する曲があり、クラスソングとしても活用できる。 ・後半には、一年間のまとめとなるような曲（6年生では卒業に向けた曲等）が使われている。 ・単元により「思い出してみよう」のマークがあり、既習内容を振り返りながら系統的に学習できるようになっているため学習の積み上げを児童自身が意識して学べるようになっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の学習活動の示し方が、思考力・判断力・表現力（考える）、知識（見つける）、技能（歌う・演奏する・つくる）の資質および能力に対応するように構成してあり、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」のめあてが明確になっている。そのため、音楽の指導経験が浅い教師でも、教科書を見るだけで、指導内容や支援方法のポイントを捉えやすく、指導しやすい内容となっている。 ・防災に関する内容も盛り込み、兵庫県にゆかりのある曲や日本の伝統文化に触れるような題材も多く扱っている。 ・各ページにあるキャラクターの吹き出しをヒントにして話し合い活動につながりやすいように工夫されており、単元によっては教科書に直接書き込める箇所も作ってあり言語活動も取り入れやすくなっている。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ページにおいて、イラストに丁寧さがほしいとは感じるが、見開き1ページの情報量が非常に多く（これまでの本発行者の1.5倍程度）、楽譜はもちろん、学びの目的や学び方、その時間のねらいや達成すべき目標が全て明記してあり、全体的に丁寧にできている。 ・デジタルコンテンツについてよく研究されていることが感じられる内容で、一人一台端末を有効に活用しながら児童が個に応じて学習に取り組めるようになっていると同時に、指導者にとっても具体的に曲調や旋律、リズム、楽器の演奏方法などを個に応じて指導しやすい内容になっていると考える。 			

教科名（ 図画工作 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラーユニバーサルデザインに配慮し、すべての文字にユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・ 自由度があり、指導において試行錯誤させやすい。 ・ 子どもの活動写真や子どもらしい作品が多く入っていて、「やってみたい」と感じさせる楽しそうな活動が紹介されている。 ・ 材料と用具の使い方の説明がわかりやすく、児童の主体的な学びに活用できる。 ・ 見開き構成の右下に、「きをつけよう」がレイアウトされており、安全面の意識が自然とできる工夫がなされている。 ・ 右下のQRコードで、学習のポイント等について、動画で見ることができる。 ・ 各学年で習得する漢字が使われているので読み仮名がなく、ゆったりとしたレイアウトである。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙を開けると、すぐ目次があり、1年間の見通しが持ちやすい。また、5つの活動（絵、工作、立体等）が明示されており、一目で活動内容がわかる工夫がなされている。また、「これなら作れそう」という意欲の湧く写真が使われている。 ・ 鑑賞教材が多く、特に、身近なところにある作品が充実している。 ・ 学習を国際理解やSDGs、多様な人々との共生等に結び付けることで、持続可能な社会の創造に目を向けられるような工夫がなされている。 ・ プログラミングを使った活動事例が、「3・4年下」と「5・6年上下」に例示されており、ICTを活用した学習への配慮がなされている。 ・ 「3・4年上」と「5・6年上」に兵庫県の素材が取り上げられている。 ・ 「3・4年上」と「5・6年上」では、「神戸っ子アートフェスティバル」「どうぶつものさし」「つながる図工」等が掲載され、防災に関する内容が取り上げられている。 ・ 用具の使い方が詳しく説明されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を見通す場面や友達との対話場面などが児童にわかりやすく、コメントや活動写真で掲載されているので、「主体的・対話的で深い学び」につなげやすい。 ・ 他教科との関連は、「つながる学びマーク」により、教科等横断的な視点を入れている。 ・ 目次の下に、「保護者の方へ」のコーナーがあり、家庭との連携も意識している。 ・ 自然の素材を生かした単元が多く、丹波篠山市、丹波市の地域性に合った内容となっている。 ・ プログラミング的思考に関する内容が、「3・4年下」「5・6年上下」に入っている。 ・ SDGsに関する内容が、「3・4年上下」「5・6年上下」に入っている。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラムマネジメント」等、新学習指導要領への対応が丁寧になされている。また、児童の発達段階や学年の系統性を踏まえた題材が掲載されており、表記や写真、吹き出し、図等も見やすく、「主体的・対話的で深い学び」を保障していくうえで、使いやすい。さらに、自然の素材を生かした単元等が多く、丹波篠山市、丹波市の地域性に合った内容にもなっている。よって、教科書として適切であると考え、選定する。</p>			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大題材ごとに学習の進め方を「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで提示し、ステップごとにタイトル下に学習のめあてを示している。 ・ステップの最後に「ふり返ろう」のコーナーを設けており、振り返り学習を大切にしている。 ・各大題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識して、学習がすすめられるようにしている。 ・配色に関しては視覚の多様性に、作業内容の写真や動画においては、手や体の巧緻性に配慮されている。 ・「成長の記録」「5年生のまとめ」「2年間のまとめ」で学習したことを振り返り、自己の成長を感じられるように工夫されている。 ・掲載されているワークシートでは、思考ツールを用いた、考えを整理しやすいものが多くあった。 ・ボタンの位置を変更できたり、字幕が出せたりして動画が使いやすく工夫されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年間の学習の見通しが立てられるようなガイダンスが掲載されている。 ・実物大の写真が多く掲載されており、児童がイメージしやすい。 ・各学年の最後に「まとめ」のページが設定され、中学校での学習のつながりを考慮した内容配列となっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の生活文化に関する内容では、(お茶・だし・食器・もったいない・日本手ぬぐい・衣替え・染め物・もてなし・地域の料理等) 各分野で万遍なく掲載されている。また、内容も充実している。 ・兵庫県に関しては神戸市の調理師のインタビューが掲載されている。 ・SDGsに関する内容では、(リメイク・マイバック・食品ロス・地産地消、グリーンカーテン等) 幅広く掲載されている。 ・防災に関する内容では、地域・家族の一員として災害時にどのように行動するか等、衣食住の観点からバランス良く掲載されている。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ステップによる学習の流れが明確であるとともに、効果的な写真が多く用いられておりイメージがしやすい。 ・ワークシートや動画の内容が分かりやすく、学習内容が習得しやすい。 ・防災や日本の生活文化、SDGs等、学習指導要領の趣旨や兵庫教育創造プラン、丹波市・丹波篠山市の教育を踏まえた内容が充実している。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な学びを可能にする学習過程が示されている。 ・ 学習内容に関連するQRコードの掲載数が6者で一番多い。 ・ スポーツ選手が取り上げられ運動領域との関連が図られている。 ・ 全ての学年で新型コロナウイルス感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な諸課題を通じて、多様な学びへの対応が図られている。 ・ キーワードは太字で示されており、UDフォントによる視認性が高い。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の配列は、すべての発行者において違いはない。 ・ 第3・4学年では健康な生活と身体の発育・発達についての分量が均等に扱われている。 ・ 第5・6学年では病気の予防についての分量が多く扱われている。 ・ 書き込み欄の数は多く、書くことが苦手な児童にも十分な広さがある。 ・ 第3・4学年の写真やグラフの数は平均的である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の身の回りを振り返って主体的に課題を設定し、課題解決に向けて他者と話し合ったり、自分の考えを説明したりするなど、対話的な学びの実現に向けた構成となっている。学習活動が1～4のステップに区切られている。 ・ 科学的、現代的な資料は「資料」というタグが示され独立したページで扱われている。 ・ 単元の扉と文中で他教科や他学年の学習との関連性が示されている。 ・ 第3・4学年・第5・6学年を通じて防災に関する内容が取り扱われている。 ・ 防災に関する内容は、兵庫県に関する内容が多く掲載されている。 			
<p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な学びを可能にする学習過程が示されている。 ・ 深い学びのための資料のページが充実しており、扱いやすい工夫がなされている。 ・ QRコードの掲載数が多い。 ・ 資料の数や書き込み欄の数が多く主体的な学びの実現が図りやすい。 ・ フォントや色彩が工夫され視認性が高い。 ・ まとめる・活かすステップで学習を振り返ることで知識の定着が図られる構成になっている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンプルな紙面で構成され、デジタルコンテンツが全ページで豊富に機能している。 ・ 基礎的な内容から発展的な内容へと繰り返し段階的に学べる構成になっている。児童がやり取りしながら、スモールステップでくり返し学習を積み上げていく単元構成になっている。 ・ デジタル教科書を活用し、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」をリンクしながら見通しを持って学び進められるので、児童の習熟度や興味・関心に応じた個別最適な学びに対応している。 ・ 他国の文化等を紹介する内容が取り扱われていて、多様な考え方が身に付くよう構成されている。 ・ カラーユニバーサルデザインの観点から配色が工夫されている。 ・ 児童が自身のデジタル教科書に書き込み、調べて分かった事柄等を蓄積することができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入段階でストーリーを伴った音声や映像を視聴し、学習内容に慣れ親しむようになっている。 ・ 1単元（Unit）の時間数は8時間となっており、学期末に2時間のまとめの時間を配置している。 ・ 余裕を持った単元の配列となっていて、4年生から円滑な接続が意識されている。 ・ 各単元で使用する例示文の数は4文で、児童が英語でのやり取りを楽しむのに適した分量である。学期末は文例がなく、既習内容を総合的に再確認する学習の幅が持てるよう工夫されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展開段階では、聞く活動の後に、ペアやグループで学習した語彙や表現を使ってやり取りをする活動を行うので、確実に英語で伝え合う力が身につけられるよう適切に単元計画されている。 ・ 「Digital Map」や「Digital Dictionary」を使って、児童が調べ学習を楽しく、効率的に行えるようになっている。児童が主体的に関心を持って学びに向かえる内容となっている。 <p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元末に発展学習ができる「Over the Horizon」のページが配置されているので、児童の主体性を育むのに適している。選択できることで学習時間の調整が容易である。 ・ 映像と音声で児童の知的好奇心を刺激する豊富なデジタルコンテンツが提供されている。 ・ 学習活動に使用するワードリストやワークシート等が巻末に掲載されている。ワークシート等、デジタル教科書への書き込みが可能で、学習の足跡を残すことができるのは魅力である。 ・ 学期末単元「Check Your Step」で、複数単元を総合的にまとめる学習ができるのは有用である。また、自己評価を通して、自分の成長を実感できるように構成されているのも有用である。 ・ 「書くこと」も「読むこと」も適度な量で、紙面とデジタルの両立を図り、児童が抵抗を感じずに主体的な学習を可能にすることができる。中学年や中学校とのつながりが成立している。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が身近に考えられるような設定で、自分自身が判断し行動につなげる問題解決的な学習が取り入れられている。 ・児童が本気で考え、議論することができるよう、考え方のポイントを示すなどの配慮がされている。 ・授業で考えたことを日常生活や他教科・領域等とつなげる配慮がなされている。 ・B5変形判であり、調査対象中最小サイズであるが、見やすい紙面になっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間を3つのまとまりに分け、視点の焦点化を図った配列になっている。 ・いじめに関する内容が1年を通して多面的・多角的に意識し続けることができるよう、バランスよく配置されている。 ・よびかけや教材、コラムを組み合わせ、内容項目から考えたことを現代的な課題として見つめる配列がなされている。 ・35教材を設け、年間35時間分を保障している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技の手立てを全学年に位置付け、体験的な学習を進める工夫がある。 ・いじめ問題など現代的な課題については、複数の教材のセットでじっくり考えたり、具体的な活動を促すSST(ソーシャルスキルトレーニング)を全学年に設けたりしている。 ・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について、身近に考えられるよう工夫されている。 ・兵庫に関する教材は、4年生以上で阪神淡路大震災を取り上げている。 ・防災については、3年生以上で阪神淡路大震災や東日本大震災、関東大震災等を取り上げている。 			
<p>【上記選定結果の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え、議論することを促すような教材が掲載され、考え方のポイントを示すなどの配慮がなされている。 ・挿絵やイラストが親しみやすく魅力的で、教材もさまざまな内容のものがバランスよく配置されている。 ・めあてを通して主体的に学ぶ姿勢を促し、対話を通して深い学びにつながる問いの工夫がある。 			